希望新聞

東日本大震災希望新聞取材班
〒100−8051（住所不要）毎日新聞生活報道部
ファクス03・3212・5177
メールkibou@mainichi.co.jp

被災した皆さんやボランティア活動に役立つ情報などをお待ちしています。「さがしています」「がんばろう」「伝言板」への投稿は、氏名、住所、年齢、職業、電話番号（あればメールアドレスも）を明記してください。

さがしています

〈岩手県〉
☆大船渡市大船渡町の浅野ミツ子さん(83)へ
岩手県一関市の吉田誠子さん(83)が心配していま す。1951年、岩手県立千厩（せんまや）病院で助産師として一緒に働き、文通していました。「電話が通じず、県警に聞いても不明です。どなたか消息を自宅（0191・21・2736）にご連絡ください。不在時は留守電にメッセージを吹き込んでください」
☆山田町中央町の鉄工所経営、木村健寿さん(66)へ 法政大工学部の中島ゼミの同級生で、埼玉県富士見市の吉野洋さん(66)らが案じています。「親戚宅にいると聞きました。連絡がつけば現地に行きたい。自宅（0498・256・1008）に電話をください」
〈宮城県〉
☆石巻市中央の「館の井（たてのい）酒店」経営、渡部洋子さん(75)へ
旧石巻女子高校の同級生、奈良県生駒市の西ふみ子さん(75)より。「石巻中央公民館と門脇中学校に電話しましたが、行方がわかりません。自宅（0743・74・7872）に電話をください」
〈福島県〉
☆相馬市中野寺前の中塚京子さん(70)と弟の哲郎さん（60代）へ いとこの千葉県松戸市の金田貞子さん(71)が携帯電話（090・5424・6202）への連絡を待っています。2人は同じ敷地で別々の家に住んでいました。「避難者名簿にも名前がありません」

みつかりました

▽18日掲載の福島県南相馬市の羽下朋太さんとご家族は、神奈川県相模原市の叔母さん宅に避難していました。自宅が福島第1原発から約12キロのため転々と避難し途中、朋太さんは肺炎で入院したそうです。20日、朋太さんの母昭子さんと電話で話した栃木県那珂川町の山口静江さんは「やっと落ち着いたとのことでした」。
▽19日掲載の福島県いわき市の佐藤紀子さんは約10年前、海から離れた市内の別の場所に転居していて無事でした。ご本人から希望新聞あてにファクスが届きました。約40キロ離れた福島第1原発の水素爆発後、東京都の親戚宅に3月下旬まで約10日間避難したそうです。電話で話した教諭仲間の神戸市、金子和子さんは「今は不自由がないそうで、安心しました」。

伝言板

▼沼田君、奨学金あります 大学に合格したものの自宅を津波で流され、兄、祖母は死亡。避難所生活を送りながら行方不明の両親を探し続ける宮城県名取市の沼田裕也さん(18)＝3月27日朝刊掲載＝が心配だという女性(55)から、三菱商事による奨学金の情報が寄せられました。
同社は緊急支援奨学金として500人の被災学生(大学、大学院)を対象に月額10万円（1年間、再申請可）を給付する予定です。「ぜひ沼田君に伝えたい。困難にくじけず元気にがんばってほしい」と女性は話しています。受け付けは5月末まで。問い合わせは平日9〜18時、フリーダイヤル（0120・279・966）へ。
▼新品の男物の作業服送ります 春先から夏まで着られる新品の薄い長袖の男性用作業服とズボンを、横浜市の奥村恵子さん(68)が送ります。淡い草色で、上着は「WADO」というロゴ入り。上着はMサイズが8枚、LLが1枚の計9枚。ズボンはウエスト76㌢が2枚、79㌢が14枚、82㌢が1枚の計17枚。上着の上に羽織れるジャンパーも1枚あります。「被災地に役立ててもらえれば。まとめて送れるとありがたいです。希望する方は『毎日新聞を見た』と自宅（045・804・1737）に電話をください」
◇
▽「あすなろホーム」の商品売ります 18日の伝言板で商品販売を申し出ていたNPO法人神戸ライフ・ケアー協会に、岩手県陸前高田市の知的障害者通所施設「あすなろホーム」の施設長、西條一恵さんから連絡がありました。クッキーやサンマのフレーク、アンデス高地原産の根菜から作ったお茶などの商品があり、神戸で月1回開く販売会で扱う予定です。同協会は「支援を続けていきたい」と話しています。

ツイッターでも随時発信

ツイッター（@mainichi_kibou）でも、被災した皆さんへのサポート情報や、各地の支援の動きを随時発信しています。これまでのツイートはこちらで検索できます。
http://bit.ly/frO91P

サポート情報 〜東日本大震災〜

21日現在

仮設住宅

仮設住宅の入居募集や説明会を行っている主な自治体の受付場所、問い合わせ先は次の通り。
〈岩手県〉◆宮古市 市役所、避難所☎0193・62・2111◆大船渡市 市役所、避難所☎0192・27・3111◆陸前高田市 仮庁舎（エコタウン鳴石）☎0192・59・2111◆釜石市 仮庁舎（シープラザ釜石）☎0193・22・8261、8262◆岩泉町 22日まで役場と小本支所☎0194・22・2111◆野田村 25日まで役場村民ホール☎0194・78・2111
〈宮城県〉◆気仙沼市 1期分191戸を26日まで市社会福祉事務所、支所、出張所☎0226・22・6600◆多賀城市 1期分45戸を27日まで市役所☎022・368・1141◆亘理町 町役場☎0223・34・0512◆七ヶ浜町 1期分115戸を30日まで町役場☎022・357・7449
〈福島県〉◆須賀川市 1期分194戸を24日まで市体育館☎0248・72・4170◆南相馬市 1期分505戸を5月6日まで市民文化会館、鹿島区役所☎0244・24・5253◆矢吹町 22日まで役場☎0248・42・2112◆相馬市 22日まで市役所☎0244・37・2178◆葛尾村 28日まで仮庁舎（旧法務局会津坂下出張所）☎0242・83・0271
〈茨城県〉◆北茨城市 2期分40戸を22日まで市役所☎0293・43・1111
〈千葉県〉◆旭市 200戸を随時、市役所☎0479・62・5895

給付・貸付

■弔慰金・見舞金
災害救助法に基づき、東日本大震災で亡くなった人の遺族に対して、各自治体から災害弔慰金が支給される。支給額は犠牲者が生計維持者の場合5000万円、その他の場合2250万円。また、負傷などで重度の障害を受けた被災者には、生計維持者250万円、その他125万円の災害障害見舞金が支給される。受け付けの開始が確認できた市町村は次の通り。
〈岩手県〉釜石市
〈宮城県〉仙台市▽石巻市▽東松島市▽塩釜市▽多賀城市▽七ヶ浜町▽山元町▽岩沼市▽名取市＝26日から
〈福島県〉いわき市
■生活再建支援制度
東日本大震災で自宅を失った被災者に対し、被災者生活再建支援制度が適用される。
全壊世帯に100万円（世帯員が1人の場合は75万円）、大規模な補修を行わなければ居住できない半壊世帯に50万円（同37万5000円）が基礎支援金として支給される。さらに新たに自宅を建設・購入する場合200万円（同150万円）、補修する場合100万円（同75万円）、賃貸住宅に入居する場合50万円（同37万5000円）が加算支援金として支給される。基礎支援金は発生から13カ月以内、加算支援金は37カ月以内に申請が必要。問い合わせは各市町村の福祉担当窓口。

入浴

営業日、営業時間、料金は特別態勢をとっている場合が多い。
〈岩手県〉
恵比寿湯＝久慈市八日町2☎0194・52・3383▽新山根温泉べっぴんの湯＝同市山根町下戸鎖4☎0194・57・2222▽健康ランド古墳ノ湯＝同市長内町35☎0194・61・3232▽湯ったり館＝宮古市茂市第8地割☎0193・72・3800▽花の湯＝釜石市野田町1☎0193・25・0268▽ホテルシーガリアマリン＝同市平田3☎0193・26・5111▽霊泉玉乃湯＝陸前高田市竹駒町上壺☎0192・55・6866
〈宮城県〉
喜代の湯＝仙台市宮城野区小田原1☎022・256・5749▽花の湯＝同市青葉区中江1☎022・223・1522▽かしわ湯＝同市青葉区一番町1☎022・223・3673▽ホテルモントレ仙台＝同市青葉区中央4☎022・265・7110▽鶴の湯＝同市太白区長町4☎022・248・3028▽道の駅・上品の郷＝石巻市小船越二子北下☎0225・62・3670▽友の湯＝気仙沼市古町1☎0226・22・2581▽笹舟の湯いやしの館＝松島町松島☎022・353・8155▽ホテル松島大観荘＝同町松島犬田☎022・354・2161▽花ごころの湯新富亭＝同町松島垣ノ内☎022・354・5377▽極楽湯名取店＝名取市高舘☎022・383・1126
〈福島県〉
極楽湯福島店＝福島市栄町1☎024・534・0026▽極楽湯福島いわき店＝いわき市菜山2☎0246・76・1926▽吉野谷鉱泉＝同市平吉野谷南作☎0246・28・3288▽尼子湯＝同市平堂ノ前☎0246・23・3002▽いわき健康センター＝同市小浜町中ノ作☎090・4046・4126▽いわき湯本温泉の日帰り温泉＝いわき湯本温泉旅館協同組合☎0246・43・3017（旅館6軒が日帰り入浴可。公衆浴場の「さはこの湯」も営業）▽ゆ処高見＝南相馬市原町区高見町2☎0244・24・5668▽飯坂温泉（福島市）の共同浴場は8カ所が営業中＝飯坂温泉観光協会☎024・542・4241
〈茨城県〉
中郷温泉通りゃんせ＝北茨城市中郷町日棚☎0293・44・0026▽魚の宿まるみつ＝同市平潟町☎0293・46・0569▽鹿島セントラル天然温泉ゆの華＝神栖市大野原4☎0299・90・0261▽潮来ヘルスランドさくら＝潮来市島須☎0299・64・5858（断水で入浴不可能な市民は28日まで無料）▽西行桜の森（咲き始め）＝平泉町長島
〈宮城県〉
榴岡公園（散り始め）＝仙台市宮城野区五輪1▽益岡公園・白石城（散り始め）＝白石市益岡町▽白石川堤一目千本桜（散り始め）＝大河原町金ケ瀬から柴田町船岡土手内▽船岡城址公園（散り始め）＝柴田町船岡城山▽西行戻しの松公園（咲き始め）＝松島町松島犬田▽愛宕山公園（咲き始め）＝色麻町四竈東原
〈福島県〉
三春滝桜（7分咲き）＝三春町滝桜久保。今年は観桜料は無料▽鶴ケ城公園（咲き始め）＝会津若松市追手町1。24日14〜20時、復興支援イベント「会津復興『侍プロジェクトさくら』」で、おみこしやよさこい踊りの披露、農産物の試食会を行う。22〜24日は市特産菓子の販売も▽開成山公園（満開）＝郡山市開成1▽霞ケ城公園（満開）＝二本松市郭内3▽夏井千本桜（もうすぐ開花）＝小野町夏井。駐車場は無料。
※開花状況、開花予想日は21日現在のウェザーニュースや自治体の観光担当課などによる。

桜だより

地震による損壊で一部立ち入り規制あり。祭りや夜間のライトアップを中止する場合も多い。カッコ内は開花状況または開花予想日。
〈岩手県〉
北上展勝地（咲き始め）＝北上市立花・市立公園内。イベント「がんばろう岩手」を5月5日まで開催▽紫波城山公園（27日）＝紫波町二日町。露店あり▽盛岡城跡公園（咲き始め）＝盛岡市内丸▽遠野綾織の桜並木（4月下旬）＝遠野市綾織町の狼ケ石川沿い▽福泉寺（30日）＝遠野市松崎町

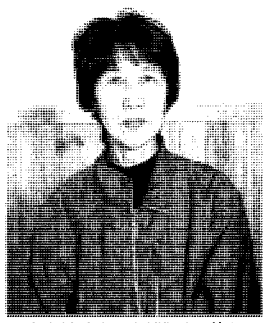
医療

22日に診療を予定している医療機関。余震、停電などの影響で変更の可能性がある。
〈岩手県〉県立久慈、県立宮古、県立釜石、県立大船渡、せいてつ記念、国立釜石、釜石のぞみ、三陸、盛岡赤十字、奥州市総合水沢、久慈恵愛、一関、岩泉は通常診療
〈宮城県〉◆仙台市 仙台市立、仙台赤十字、仙台厚生、仙台医療センターは通常診療▽急患センターは内科、外科が19時15分〜23時、小児科は7時まで▽東北公済病院はかかりつけの患者の処方のみで8時〜11時半、国立西多賀は予約が必要、長町はかかりつけの患者のみ◆仙台市外 塩釜市立、坂総合、緑ケ丘、赤石、県立がんセンター、県立精神医療センター、守、名取熊野堂、小島、総合南東北、スズキ記念、国立宮城、松島、公立黒川、佐藤、真壁、石巻ロイヤル、齋藤、赤坂、真壁、仙石、県立循環器・呼吸器病センターは通常診療▽仙塩総合はかかりつけの患者▽宮城利府は軽症の患者▽石巻市立は仮診療所で9〜11時、13時半〜15時半、石巻湊は9時〜12時半、石巻赤十字は救急の重症のみ、こだまホスピタルは8時半〜16時、石巻市立牡鹿は通常通り▽気仙沼市立は通常診療だが、内科と消化器科の新患の受け入れが不可、急患は対応、三峰は8時〜11時半、猪苗代は9〜12時、14〜16時、大友は7〜12時、13時半〜15時半、気仙沼市立本吉は8時半〜11時半、13時半〜16時
〈福島県〉◆福島市 福島市立、公立藤田、総合南東北、スズキ記念、国立福島、福島労災、福島赤十字、福島医大、福島県立医科大、福島厚生、福島成人病センター、福島西部、福島第一、福島第二、ときわ会、福島桜ケ丘、福島広域、福島県精神医療センター、福島県立医大ふくしま子ども、福島県立医大会津、竹田綜合、会津中央、会津西病院、会津総合、会津共立、会津美里、会津坂下、会津若松市立、喜多方、喜多方プラザ、喜多方市立、塩川、山都、猪苗代、猪苗代町立、磐梯町立、北会津、湯川、河東、会津高原尾瀬、只見、只見町立、南会津、南会津町立、伊南、檜枝岐、下郷、田島、舘岩、南会津町立、南会津町立、桧

希望新聞

声 被災地から

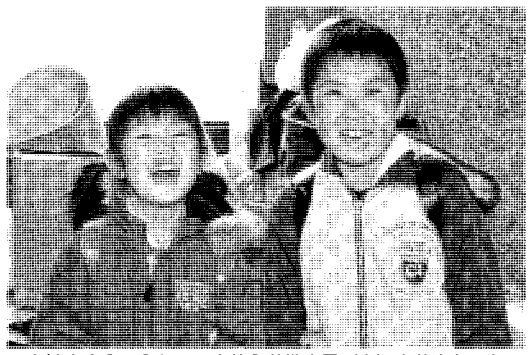
岩手


家を流され、避難所で暮らす畠山京子さん＝田野畑村で、吉井理記撮影

家を失い、避難所で暮らす田野畑村の主婦、畠山京子さん(61)「漁師をしている67歳の夫と暮らしていました。2人とも高台に逃げて無事でしたが、漁船も家も流されました。青森にいる長男の元に身を寄せることも考えましたが、夫が漁協の理事をしており、地区の再建を指導しなければならない立場上、簡単に地元を離れることはできません。今は何より仮設住宅に入りたい。でもまだまだ数が足りません。国にはできるだけ早く、被災者みんなが落ち着いた生活ができる環境づくりをお願いしたい」

大槌町の中央公民館で行われた始業式に出た町立大槌小4年、菊池克君(9)と妹の同小2年、華歩ちゃん(7)「家は津波の被害を受けなかったので、これまでゲームをしたり勉強したりしていました。久しぶりにみんなに会って、無事だったのでよかった。(校舎が地震で壊れたので)山田町の陸中海岸青少年の家で授業を受けます。いっぱいみんなと遊んで、勉強したい」

菊池ユミさん


友達と会えてうれしいと笑う菊池克君(右)と華歩ちゃん＝大槌町で、木村文彦撮影

津波被害を受けた釜石市鵜住居町の菊池ユミさん(86)「(3月11日は)私はもういいって言ったけど、孫に背負われて高台に逃げました。次男夫婦は行方不明が続いていましたが、嫁はようやく遺体で見つかりました。毎日涙ばかり出て仕方ありません。次男が見つかったら、寒かったろうからせめて着物を着せてあげたい」

コンサート聴いて「笑顔」

支援コンサートを聴いた阿部悦子さんと長男惟人君＝南三陸町の志津川中学校で、泉谷由梨子撮影

宮城

南三陸町の志津川中学校で登米市出身の歌手、泉忠伸さんらのコンサートに来た同町志津川大森の阿部悦子さん(32)と長男惟人君(8)「町のために活動してくれる気持ちがうれしい。自分の家族は無事でしたが、友達のお母さんが行方不明で見つからない。早く見つかってほしい」

武藤きよみさん(後ろ)と長女伶奈ちゃん(左)、次女冴英ちゃん＝七ケ浜町の七ケ浜国際村で、曽田拓撮影

七ケ浜町の七ケ浜国際村の避難所で長女伶奈ちゃん(7)、次女冴英ちゃん(1)らと暮らす武藤きよみさん(40)「避難した当初はおむつや離乳食が足りずに困りましたが、支援物資のおかげで充実してきました。(冴英ちゃんは)時々、風邪を引いたり下痢をしたりと少し心配ですが、他のお姉ちゃんやお兄ちゃんに遊んでもらって過ごしています」

福島

「離ればなれになった生徒たちが心配です」と話す渡部真里さん＝二本松市針道の東和文化センターで、金寿英撮影

二本松市針道の東和文化センターに避難していた浪江町立野、中学校教諭、渡部真里さん(46)「高校2年の長女は元の学校に通えないので避難所近くの安達高校に転入しました。大工の夫の会社は再開のめどが立たず、20歳の長男もハローワークに通っていますが、求職者がいっぱいで仕事が見つかりません。収入がほとんどないので、補償金や支援金に頼るしかありません」

松本豊子さん

同市育館に南相馬市原町区北町から両親、子供2人と避難している田渡香さん(35)「16年間働いていた電機部品製造の仕事を続けたかったのですが、子供と一緒に避難してきたので辞めました。避難所ではボランティアの人も親切ですし、音楽会などの催し物も開かれているので気分転換になります」

運動公園体育館に浪江町から家族4人で避難している松本豊子さん(46)「高校2年の長女と、補償金や支援金に頼るしかありません」

ボランティア

「気仙沼巡回療養支援隊」に参加 「行政と連携して 医療の穴なくしたい」

山本裕子さん

途上国で医療支援を行うNPO「シェア＝国際保健協力市民の会」(東京都)の山本裕子さん(34)＝保健師＝は、宮城県気仙沼市で被災者宅を訪問して保健医療関連のニーズを把握する活動に参加した。現地の医療機関などが設立した「気仙沼巡回療養支援隊」で、健康相談チームのコーディネーターとして、必要があれば診療チームに被災者を引き継いだ。山本さんは「行政と連携して、保健医療の穴をなくしたい」と話し、近く再び、被災地に入る予定だ。

災害初期の救急医療を担う災害派遣医療チーム(DMAT)と異なり、シェアは中長期の保健活動を重視している。これまで途上国だけでなく、阪神大震災や新潟県中越地震の被災地に医師や看護師らを派遣し、地元医療機関を支えながら避難所の被災者のケアを側面からサポートした。

気仙沼市は多くの公共施設が被災し、一時は行政機能もまひした。避難所に行くことのできない高齢者、障害者などの安否確認が重要な課題となり、3月25日に巡回療養支援隊が発足。山本さんはその一員として4月10日から17日まで、地元の保健師や看護師らと、在宅市民の健康状態や生活状況を調査した。

■募集している団体■

被災者のために活動したいという希望がある場合、特定のNPOやNGOの本部に申し込み、オリエンテーションなどを受けて現地に向かう方法もある。ホームページなどでボランティアを募集している主な団体を紹介する。

ピースボート☎03・3363・7967 宮城県石巻市と東京で活動するボランティアを募集。石巻には最短で1週間滞在し、避難所での手伝いや炊き出し、物資の運搬をする。今後は5月6、13、20日に出発。それぞれ約1週間前に東京で説明会がある。東京でのボランティアは街頭募金や支援物資の仕分けなどで、1日のみの活動も可能。

ジェン☎03・5225・9352 宮城県石巻市で活動する。泥出しボランティアは日数の制限はない。炊き出しボランティアは1回につき100～1200食作るので経験者を募集。活動期間は最低1週間。

レスキューストックヤード 宮城県七ケ浜町で足湯サービスや家の片付け、被災者のニーズを聞き取る戸別訪問などを行う。名古屋市東区の事務所から現地に入るマイクロバスを定期的に運行。4泊5日で宿泊費込みの参加費は一般7000円、学生4500円。出発日が決まるごとにホームページに記載。

アジア協会アジア友の会☎06・6444・0587 宮城県南三陸町歌津地区で約10日間、炊き出しや物資の配布、足湯サービスなどを行う。次回は5月9日に大阪をバスで出発する予定。事前に説明会を開く。

× ×

ボランティアを希望する人は、まず基本的な情報を調べ、自分で何ができるか考えよう。

●全国社会福祉協議会被災地支援・災害ボランティア情報(www.saigaivc.com/) ボランティアセンター(VC)一覧のほか、基本的な心構えをまとめている

●助けあいジャパン(tasukeaijapan.jp/) ボランティアの募集・登録情報を種別、地域別などで掲載

●Yahoo!ボランティア(volunteer.yahoo.co.jp/) 支援活動中の団体などをまとめたほか、震災関連のイベントや募集の検索も

●東日本大震災支援全国ネットワーク(www.jpn-civil.net/) 全国のNPO、NGOなどが多数参加するネットワーク。初心者向け資料やVCの設置状況の地図など

■公営住宅の被災者受け入れ■

★被災者向け公営住宅等情報センター
フリーダイヤル 0120・297・722
(9～18時)

被災者が入居可能な全国の公営住宅、UR賃貸住宅などの情報を紹介する。入居は原則無料。希望先の住宅を管理する自治体などに電話が転送される。有料の民間賃貸住宅も案内している。

■近隣都道県の避難者受け入れ先■

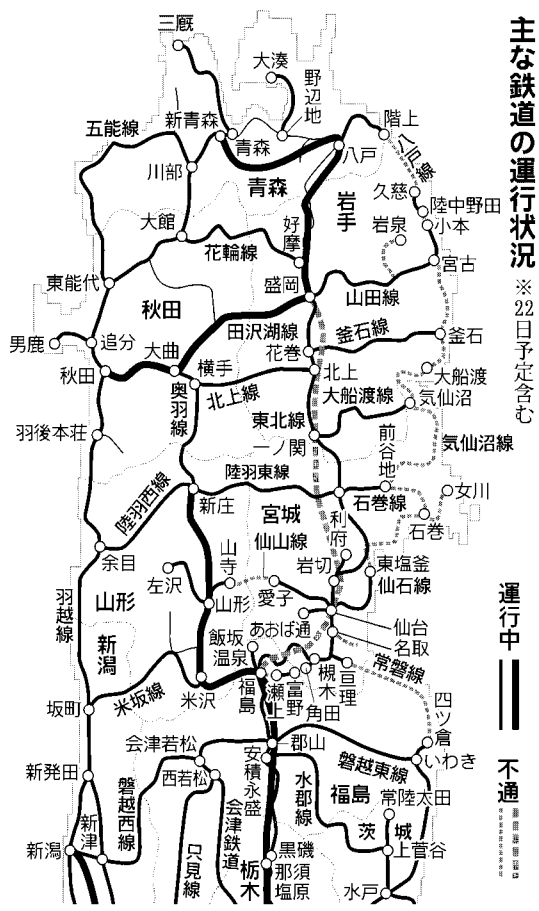
<北海道>道外被災県緊急支援対策本部 ☎0120・113・926
<青森県>県生活再建・産業復興局 ☎017・734・9581
<岩手県>
県内陸部の宿泊施設で受け入れ。
県政策地域部の専用窓口☎019・629・5216
<秋田県>県被災者受入支援チーム ☎018・860・4504
<山形県>県建築住宅課 ☎023・630・2638
<新潟県>県住宅確保対策班 ☎025・282・1748
<茨城県>県避難対策班 ☎029・301・6735
<栃木県>相談窓口=道の駅「那須高原友愛の森」 ☎0287・78・3033
<群馬県>県避難者受入れ支援センター ☎0270・26・9420～1
<東京都>都総合防災部 ☎03・5320・4007
<神奈川県>県災害支援担当 ☎045・210・5970
<埼玉県>県避難者総合相談センター ☎048・601・2220
<千葉県>県の避難者センター ☎043・223・3411
<山梨県>県支援対策室 ☎055・223・1519
<長野県>県の受入相談 ☎026・235・7407

■主なバスの運行状況■

<岩手県北バス>☎019・654・5814
盛岡―郡山、盛岡―福島などで運行
<岩手県交通>☎019・654・7755
盛岡と釜石、大船渡、陸前高田などを結ぶ長距離バスを運行。陸前高田市内の鳴石団地前から広田小学校、的場、国道沿い伏、合場の4方面への路線を再開(当面無料)。JR盛―一関、大船渡―一関は22日から臨時運行
<ミヤコーバス>☎022・771・5310
仙台―気仙沼、仙台―石巻などを運行
<仙南交通>☎022・242・1234
仙台空港―JR仙台駅前で直行バス運行
<仙台空港鉄道>☎022・707・2235
仙台空港―JR名取駅で代行バス運行
<福島交通>☎024・531・2706(福島支社)
☎024・943・1651(郡山支社)
高速バスは全路線で復旧

■主な国内線の運航状況■

22日の運航予定は次の通り。便数は1日当たり。
<花巻空港>
羽田便=3往復▽伊丹便=4往復▽新千歳便=2往復(いずれも日本航空)
<山形空港>
羽田便=日本航空4往復▽伊丹便=日本航空5往復、全日空2往復▽新千歳便=日本航空2往復、北海道国際航空1往復▽中部便=全日空1往復
<仙台空港>
羽田便=全日空3往復、日本航空2往復▽伊丹便=日本航空2往復、全日空1往復(27日から新千歳、中部へ全日空が各1往復)
<福島空港>
新千歳便=2往復▽伊丹便=5往復(いずれも全日空)



主な鉄道の運行状況 ※22日予定含む

■主な鉄道の運行状況■

●新幹線
<東北新幹線>東京―福島、盛岡―新青森で運行。一ノ関―盛岡は23日、福島―仙台は25日、仙台―一ノ関は30日ごろ再開予定。25日再開予定の仙台―東京は「はやて」など1日44往復。28日乗車分までの指定席は23日午前11時から発売
<山形新幹線>全線(東京―新庄)で運行
<秋田新幹線>盛岡―秋田で運行。東京―盛岡を含む全線は今月末以降に再開予定

●JR在来線
<東北線>全区間で再開
<仙山線>愛子―山寺は23日
<常磐線>上野―いわきの特急は今月下旬に再開

●その他
<三陸鉄道北リアス線>宮古―小本、陸中野田―久慈で運行
<仙台市地下鉄>29日に全線再開予定。富沢―台原は運行
<阿武隈急行>槻木―角田と富野―瀬上で運行

Q&A

Q 水没した携帯電話、もう使えない? A データの復旧ができる場合も

NTTドコモ、ソフトバンクモバイル、KDDI(au)の携帯電話3社に聞きました。

ドコモとソフトバンクは、電源が入らない端末内のデータを復旧するサービスを提供しています。通常は成功した場合に5250円かかりますが、災害救助法適用地域では無料です。無料期間はドコモが5月末まで、ソフトバンクは今のところ期限を決めていません。

KDDIはこうしたサービスを行っていませんが、普段から電話帳データをサーバーにバックアップするサービスを無料で提供しています。携帯電話が壊れても、サーバーから新しい端末にデータをダウンロードできます。

故障した携帯の修理代は、3社とも東日本大震災の被災者に限り減免しています。ソフトバンクの「iPhone」は、製造元のアップル社が6月末まで無料で修理か交換をしています。利用料金の支払い期限の延長なども各社が実施しているので、ホームページや販売店などで確認しましょう。

水没した携帯電話の電源が入らなくなっても、水気を払おうと端末を振ったりすると、より重大な故障の原因になるので、まず契約会社の販売店に持ち込みましょう。また、電話帳やメール、画像などのデータを、端末に差し込めるマイクロSDカードに記憶させていれば、新しい電話機にカードを移して利用できる場合もあります。【金子淳】

ミニニュース

■ベルギーが支援チャリティー ベルギー王国大使館とベルギー観光局ワロン・ブリュッセルが23日10～18時、被災地を支援するチャリティーを東京都千代田区二番町の同大使館で開催する。

ワッフルやチョコレートなどベルギーの食料品、雑貨を通常より安く販売するほか、首都ブリュッセルと南部ワロン地方の観光大使を務めている女優、とよた真帆さんの絵画作品などを販売する。筝曲演奏家、米川敏子さんによる演奏も。入場料500円。先着500人はベルギー生まれのキャラクター、スマーフのピンバッジ付き(16歳未満は無料だが、ピンバッジはなし)。入場料と売り上げの一部をNGO「セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン」を通じて被災地に送る。問い合わせは同観光局☎03・3237・7101。

■石巻の大型映画館が営業再開 東日本大震災で被災し休業していたワーナー・マイカル・シネマズ新石巻(宮城県石巻市蛇田新金沼)が24日に営業を再開する。同日から「英国王のスピーチ」▽「ガリバー旅行記」▽「クレヨンしんちゃん嵐を呼ぶ黄金のスパイ大作戦」▽「名探偵コナン 沈黙の15分(クォーター)」など11作品を上映する。上映時間などは電話(0225・92・0711)か劇場ホームページ(http://www.warnermycal.com/)で。

世代超えともに歌おう

遠くの被災地より

阪神大震災で童謡の力知った歌手 深川和美さん(42)

阪神大震災(95年)発生時、神戸市長田区のマンション9階にいました。戦争で大砲が撃ち込まれたと思って部屋で数時間ぼうぜんとし、周囲に火の手が迫る中を友人に助け出されました。

芸大でフランス歌曲を学び、ジャズや演劇など他分野のアーティストと共同で創作するのに懸命だったのですが、全く興味を失いました。震災から2週間ほど後でしょうか、ふと日本の童謡ならと思い、歌詞を集めた本を買って仲間の前で口ずさみました。「赤とんぼ」「雪(おぼろ)月夜」「早春賦」。私も周囲も夢中になりました。

バイクに乗り、がれきと焼け野原の町に出て、仲間と一緒に歌い始めました。マスクにリュック姿の被災者が、次々と足を止めてくれました。私たちの周りに座り込んで、涙をぼろぼろこぼしながら、大合唱になるのです。

何としても生き延びねばならない厳しい状況になると、大人になってから身にまとった知識や教養は、はがれ落ちるのだと思います。自分の根っこにあるものと人間同士の絆しか残らない。あの時、私たちには童謡が必要でした。以来、学校や施設を回り、童謡を思い出してもらうコンサートを続けています。

童謡は男女の恋愛でなく、自然の恵みや情景の素晴らしさをうたっています。だから普段は心の奥底にしまっておいていい。でも、しんどくて呼吸が浅くなっている今、被災地で、世代を超えて一緒に歌ってほしいです。【聞き手・鶴谷真】